

申請書類 (記載例)

補助事業計画書

1 申請者の概要

所在地 (住所)	〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 岡山県〇〇市〇〇—〇〇〇
名称 (屋号)	株式会社〇〇
代表者職氏名	(役職) 代表取締役 (氏名) 岡山 太郎
宿泊施設名称・ 所在地 (住所)	(名称) 〇〇ホテルリゾート (住所) 〒〇〇〇 - 〇〇〇〇 岡山県〇〇市〇〇〇—〇〇—〇〇
補助事業責任 者 連絡先	(役職) 営業部長 (氏名) 岡山 次郎 (E-mail) 〇〇〇@〇〇〇 (TEL) 〇〇〇—〇〇〇—〇〇〇〇 (FAX)

2 事業の内容

補助対象事業	<input checked="" type="checkbox"/> ①感染症対策に資する物品の購入等 <input checked="" type="checkbox"/> ②前向き投資に要する経費 ※ 該当するもの (両方該当する場合は両方) にチェックをしてください。
補助事業の概要	<p><補助事業の内容、目的、効果等を詳細に記載してください。></p> <p>【①感染症対策に資する物品の購入等】</p> <p>新型コロナウイルス感染防止対策として従業員へ1時間毎での手洗いや、マスク着用の義務化を行っています。マスク及び手洗いのみでの感染防止対策では限界があるため、本補助金を活用し感染防止対策の強化を図ります。具体的にはフロントスタッフ等の宿泊客との接触頻度が高い従業員についてはフェイスシールドの着用を実施します。また、最も人通りの多いフロントでは抗菌フィルターを搭載した空気清浄機を設置し空気清浄を行うとともに飛沫防止対策としてフロント受付部分へのアクリル板の設置行う予定であり、施設内の消耗品も含めて、次のような物品を購入します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マスク ・ フェイスシールド ・ アルコール消毒液 ・ 遮蔽用アクリル板 ・ 空気清浄機 等 <p>また、当施設のトイレの手洗い場が従来型でタッチレス化しておらず、不特定多数の宿泊客が手洗いをする際にハンドルに接触しております。そこで、全4個所のトイレの水栓をタッチレス化 (5台) し、接触回数を減らすことで衛生面の</p>

<p>補助事業の概要 (続き)</p>	<p>問題を解決し、感染防止対策を強みとした新たなビジネス展開による売上の確保を図ってまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動洗浄タッチレス水洗5台導入工事 <p>【②前向き投資に要する経費】</p> <p>新型コロナウイルス感染流行の影響で宿泊客数が2020年3月以降影響を受け始め、2021年3月時点では前年対比売上高65%減と悪化の一途を辿っています。ワクチン接種が開始され、今後人流が活発になることが見込まれるものの、依然として「3密回避の徹底」が宿泊客に求められていることと考えています。</p> <p>そこで、当施設のBBQスペースについて、年中楽しめるグランピング施設として改修工事を行います。当施設周辺はお子様と一緒に川遊びや昆虫採集も楽しめるロケーションであり、グランピング客室は豪華なキャンプを楽しみたい家族層へ向けた目玉客室として打ち出す予定です。さらに、他の宿泊施設との差別化としてグランピング客室に貸切露天風呂を併設することで自然を満喫できる安心安全な優雅なスローライフを満喫できます。3密を回避したプライベートな宿泊施設としてウェブサイトやSNSで発信することで新たな客層を囲い込むことで売上増に繋げていきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グランピング用スペース改修工事（排水溝設置、ウッドデッキ整備等 一式） ・露天風呂設置工事（グランピング宿泊客専用）
-------------------------	--

3 宣誓書（下記記載内容を十分確認の上、該当する場合、□にチェックしてください。）

- 交付申請書における提出書類の記載内容、見積書等の添付書類に虚偽はありません。虚偽が判明した場合は補助金の返還等に応じます。
 - 交付申請書に記載した事業に係る経費について、国（独立行政法人等を含む。）及び地方自治体の補助金・助成金制度を利用（他の補助金等を補助申請事業に充当）しているものではありません。また、申請中ではありません。
- ※ 本補助金の交付申請を行う事業に係る経費以外の経費について、国（独立行政法人等を含む。）及び地方自治体の補助金・助成金制度を利用することは妨げない。